みんなのひろば
Community Mifune

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861－3296 御船町役場「おたより」係　※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 **kanri@town.mifune.lg.jp**

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

先日、友人から御船のパワースポット「不幸にならない石」のウワサをききました。早速ナデナデしに行ってきましたYo！他にもかくれた名所があれば広報で紹介して下さい！！
（滝川・Nさん）

御船町には、八勢目鑑橋をはじめ、有名な名勝が様々ありますが、大パノラマで絶景を眺望できる吉無田高原ゆうすげの丘や町の天然記念物に指定されています長生のイチイガシ等のかくれた名所もありますよ。ぜひ、行かれてみては？
（商工観光係）

イラストコーナー

イラストは
たてに描いてね

りおん さん

山口　恵美 さん

みなと さん

清水萌希楓 さん

御船高校 NOW

目指せ日本一！電子機械科

本校電子機械科は昭和61年4月1日に設置され、「機械・電気・電子・情報」の四分野を学ぶことができる、県内でも数少ない学科です。何より1学年2クラス80名という少人数を生かし、一人ひとりの活躍の場が多いことが特徴としてあげられます。

科の特徴を活かした部活動にマイコン制御部があります。ロボット班は第24回全国高等学校ロボット競技大会石川県大会でBチームが準優勝、Aチームが5位・技術奨励賞という好成績を収めました。またマイコンカー班は2年ぶりに九州大会に出場を果たしました。

今年で11回目となった「御船高校杯中学生ロボット大会」は、参加してくれた中学生が全国大会で活躍してくれています。「小学生ものづくり教室」は楽しみながら電子工作などに取り組んでくれています。いずれも電子機械科の生徒が主体となって、企画・運営しています。

就職率も14年連続100％を達成し、県外の大手企業から地元企業まで、他の工業高校に遜色ない就職先を確保しています。今年度は1千件を超える求人を頂き、泣く泣くお断りしている現状もあります。また進学でも、専門高校推薦枠を利用して国立大学等へ進んでいます。

これからも資格取得・進路決定・部活動、すべての分野で日本一！を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。

芸術コース卒業演奏会・制作発表会のご案内

音楽、美術デザイン、書道の3つの専攻を有する御船高校芸術コースでは、3年生による卒業演奏会（音楽専攻）、卒業制作発表会（美術デザイン専攻・書道専攻）を開催しています。各専攻とも、3年間の学習の成果として多くの生徒が様々な公募展やコンクールで入賞を果たしており、発表はどれも聞き応え・見応えのあるものばかりです。本年度は益城町文化会館、びぷれす熊日会館を会場に開催します。ぜひ皆様お誘いあわせの上ご来場下さい。

【音楽専攻卒業演奏会】
平成28年12月21日(水)
18:00開場　18:30開演
益城町文化会館（益城町木山３８１－１）

【美術デザイン専攻・書道専攻卒業制作発表会】
平成29年１月24日㈫～１月28日㈯
9:00～17:00
びぷれす熊日会館６F・７F
（熊本市中央区上通町２番）

〒861-3204
御船町木倉1253番地
☎ 282-0056
fax 282-1286
e-mail
mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp

文芸 ひとひねり

短歌

永年を吾が足として来しバイク止めた途端に不自由をする　山本志満子
引潮に沖へと泳ぐ魚の群陽に照らされて背びれが光る　市川　結子
膝痛に耐えて早起きチリ運ぶ淡き朝月老をなぐさむ　奥田利恵子
脳トレの部厚き本を渡されぬ呆けてはならじと娘の願望　甲斐レイ子
歩行者以外通行禁止の八竜橋高校生らは走りて渡る　金森　英子
「お早う」と言いても返す人なけど一声かけて朝の事ぶれ　平野　文子
稲穂波見えぬこの年彼岸花の赤は健気にあぜ道飾る　正宗タツ子

俳句

御船春菊句会　水野つとむ選

今日も又普段の暮らし石蕗の花　吉田登美子
日本に新蕎麦といふ馳走かな　渡辺ケイ子
天と地に銀杏黄葉映え渡る　鍋田　瑞枝
新蕎麦やふるさとの山なつかしき　緒方　宣子
冬うらら親しき友とカフェテラス　黒田　順子
冬薔薇心片隅覗かるる　さとうともこ
茶の花やエプロンのまま立話　緒方　栞

肥後狂句

天狗会

ドンピシャリ　計量器どま要らんたい　河地　ゆき
えらいしこ　チラシが客は集めとる　林田　実花
まあだ十年　退職まではあるローン　川部　呉穂
花植えて　様変わりした荒野原　木村　道草
嘘だらけ　しわもしみもが消えるげな　田中　穂波
目が高い　魚えらびは旬のネタ　前田　沙笑
年は幾つか　孫と本気でけんかさす　吉田　楽園
一遍に　ローンは利子の高う付く　増永　笑和

一般投稿

紅葉の五郎ヶ滝に行きたくも膝の痛みに飛沫浴びれず　龍　友
人生の山谷越えて九十年老いて健康倖の日々　松岡フミエ
晩秋のけふの夕餉はむかご飯蒸らす香りの部屋を充たして　西梅　芳久
空色のインコ畦より飛び行けり震災の野に迷ひし一羽　西梅　孝子